



# おまかせ引越 Pro2 (Zinstall Migration Kit Pro) ユーザーガイド

※本製品は「ZVT Inc.」の「Zinstall Migration Kit Pro」を改題、一部機能を変更したものです。また、ヘルプや製品内に、本製品の機能や名称と一部異なる記述がありますので、あらかじめご了承ください。。



Copyright © ZVT, Inc., all rights reserved.

“Zinstall” , “Zinstall XP7” , “Zinstall zPOD” , “Zinstall WinWin” , “Zinstall HDD” , “Zinstall WinServ” , “Zinstall Migration Suite” and the Zinstall logo are registered trademarks of ZVT, Inc.

“Windows” , “Windows XP” , “Windows Vista” , “Windows 7” , “Windows 8” , “Windows 10” are registered trademarks of Microsoft Corporation.

All other trademarks and copyrights referred to are the property of their respective owners.

Distribution of modified versions of this document is prohibited without the explicit permission in writing of the copyright holder. Distribution of this work or derivative work for commercial purposes is prohibited unless prior permission is obtained from the copyright holder.

DOCUMENTATION IS PROVIDED “AS IS” AND ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT, ARE DISCLAIMED, EXCEPT TO THE EXTENT THAT SUCH DISCLAIMERS ARE HELD TO BE LEGALLY INVALID.

## 目次

<b>引越の準備</b> .....	<b>01</b>
<b>あなたの引越シナリオは？</b> .....	<b>03</b>
<b>引越手順</b> .....	<b>05</b>
シナリオ 1：壊れた PC をレスキューする / 別の HDD からの引越 .....	05
シナリオ 2：SSD ターゲット（ハイブリッド・ストレージ・モード） .....	07
シナリオ 3：中間的ストレージ・ロケーションでの受け渡し（直の接続がない場合） .....	08
シナリオ 4/5：一つのパソコンから別のパソコンへ引越 .....	09
シナリオ 6：同 PC 上で Windows7 / 8 / 10 へのアップグレード引越を行なう .....	11
シナリオ 7：サードパーティのバックアップイメージから復元 .....	12
シナリオ 8：他のユーザーのプロフィールから引越 .....	13
プロフィール、設定、データのみを引越、アプリケーションを引っ越さない場合 .....	15
引越対象の選択 .....	16
コマンドラインの実行について .....	18
<b>Appendix A</b> .....	<b>19</b>
Web アクティベーション .....	19
CHKDSK を実施 .....	20
FAT32 ドライブを NTFS システムへ変換 .....	20
<b>トラブルシューティング ガイド</b> .....	<b>21</b>
<b>引越後</b> .....	<b>24</b>

## 引越の準備

### 始める前に

引越を開始する前に以下をご確認ください。

- 1.セキュリティ製品、ウイルス対策、ファイアウォールなどをアンインストールする
- 2.起動中のアプリケーションを終了する
- 3.特に古い PC は CHKDSK でシステムの整合性をチェックすることをおすすめします。
- 4.引越元、引越先の HDD が FAT32 でフォーマットされている場合は、引越を開始する前に NTFS にフォーマットすることをおすすめします。
- 5.各ハードドライブに空き容量が 1GB 以上あるをご確認ください。
- 6.本製品を使用するには引越元、引越先で管理者権限のアカウントが必要です。
- 7.本製品は Windows のセーフモード上では動作しません。
- 8.Windows が起動しない、もしくはサブコンポーネントが破損している場合正しく引越できません。
- 9.本製品の使用にはインターネットによるアクティベーションが必要です。

### ドメインでの引越について

ドメイン環境で引越を行う場合は、引越を行う前に引越先の PC をドメインに追加し、両 PC で同じユーザーとしてログインする必要があります。なお、引越中には引越先の PC は同じドメインネットワークにある必要があります（引越したプロファイルを正しく認証するため）。

### 製品の起動とアクティベーション

注意：2 台のパソコンを使用する場合（古い PC から新しい PC への引越などの場合）、本ソフトを両 PC で起動する必要があります。

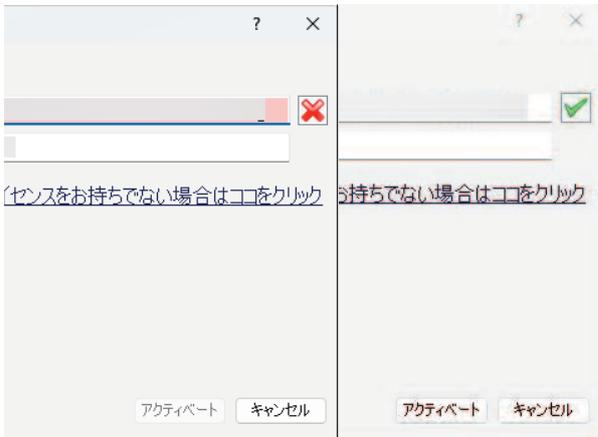
手順：

- 1.インターネット接続がある場合は PC をネットに接続してください
- 2.本製品を起動してください
- 3.製品のアクティベーションを実施します：
  - a) ダウンロード版を購入した場合のシリアル番号（34 桁）はメールに記載されています。
  - b) CD 版を購入した場合のシリアル番号（34 桁）は「製品シリアル番号」カードに記載されています。
  - c) ソフトからシリアル番号（34 桁）とメールアドレスを入力するように促された場合は入力してください。



4. シリアル番号とメールアドレスを入力します

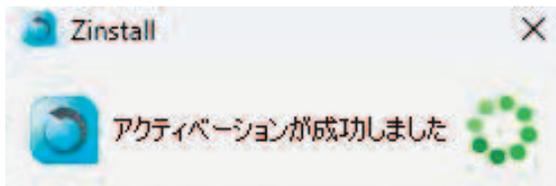
- a) 赤い×が表示される場合はシリアル番号が間違っています。
- b) 緑のチェックマークが表示される場合、シリアルは正しく入力されたことを意味します。



5. 「アクティベート」ボタンをクリックするとアクティベーションが行なわれます。PC がインターネットに繋がっている場合、アクティベーションはインターネット経由で実施されます。

- a) インターネットに接続されていない場合はオフラインでアクティベーションできます。詳細については Appendix A の「Web アクティベーション」をご参照ください。

6. アクティベーションが正常に完了すると完了ダイアログが表示されます。



7. Zinstall 使用許諾書が表示されますので、「承認」をクリックします。

## あなたの引越シナリオは？

実際に引越を開始する前に、以下の各シナリオを確認して、自身のシナリオに一致するものを選択してください。各シナリオのガイドに従って引越を行なってください。

### シナリオ 1：壊れた PC をレスキューする / 別の HDD からの引越

古い PC が壊れて起動出来なくなった場合や、OS が正常に動作しなくなった場合でも、壊れたパソコンの HDD から直接引越ができます。内蔵 HDD、外付け HDD でも（USB 接続などでも）引越可能です。

詳細は P5 をご確認ください。

### シナリオ 2：SSD ターゲット（ハイブリッド・ストレージ・モード）

引越先の PC が SSD を使っていて、データには専用の HDD を使うような構成になっている場合、引越もこれを考慮する必要があります（つまりアプリ構成は SSD へ。その他のデータは HDD へ、と）。「SSD モード」は単体のシナリオではありませんが、各シナリオの引越時に選択できるオプションの一つで、「引越先の選択」の画面で有効にすることができます。

詳細は P7 をご確認ください。

### シナリオ 3：中間的ストレージ・ロケーションでの受け渡し（直の接続がない場合）

このシナリオでは 2 つの段階に分けて引越をします。まず引越元 PC のイメージファイルを作成し、ネットワークストレージ、外部 HDD、その他のメディアへ保管します。その後イメージファイルを引越先の PC に適用します。これによって両 PC が同時に手元にない状況でも引越できます。2 番目の操作がすぐに行えない場合やネットワークストレージを使いたい場合は役立つシナリオです。

詳細は P8 をご確認ください。

### シナリオ 4：物理的なマシンから仮想 PC へデータを受け渡す場合（P2V）

引越先は物理的な PC ではなくて、バーチャル PC の場合もあります。これは Windows XP モードや Hyper-V 環境への引越などを含みます。

詳細は P9 をご確認ください。

### シナリオ 5：一つの PC から別の PC への引っ越し

引越元と引越先が同じネットワークに接続されている場合で、最も基本的なシナリオです。

**【重要】**：この引越は 2 台の PC が同じネットワーク、同じルーター、もしくはネットワークケーブルで直接接続されている場合です。もし PC をお互いに接続ができないような構成の場合はシナリオ 1 をご参照ください（引越元 PC の HDD を直接引越先 PC に接続する方法）。

詳細は P9 をご確認ください。

### シナリオ 6：Windows をアップグレードインストールした場合

新しい Windows が既存の PC にインストールされた場合のシナリオです。一般的にこれは XP から Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 へのアップグレードが該当するシナリオです。アップグレード自体はシナリオ 3 の方法で行なわれますので XP マシンのイメージファイルを作成後、Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 の PC に移動し、イメージファイルからアプリケーション、設定、ファイルを復元するプロセスになります。

詳細は P11 をご確認ください。

### シナリオ7：サードパーティ製品のバックアップから復元

サードパーティ製のイメージバックアップを使って、プログラム、設定やファイルなどを復元することができます。サードパーティ製のイメージをマウントしたら、シナリオ1の手順で引越を実施してください。

詳細は P13 をご確認ください。

### プロファイル、設定およびデータのみを引越（アプリケーションは引越さない）

すべてのシナリオにおいて、プロファイル、設定、データのための引越、アプリケーションは引越さないように設定することができます。例えば、引越先のパソコンには必要なアプリケーションなどがすでにインストールされており、設定やデータのみを引越する必要がある場合は、メインのシナリオ選択画面でこの設定を変更することができます。

こちらはすべてのシナリオにて選択できるオプションです。

詳細は P13 をご確認ください。

### 引越対象を選択

上記のすべてのシナリオにおいて、引越の対象は選択式になっているため、すべてのアプリケーション、設定、ファイル、ではなく、引越したいものだけを個別に選択できるようになっています。

詳細は P14 をご確認ください。

### コマンドラインからの実行

本製品は GUI のみではなく、コマンドラインからの実行も可能です。

詳細は P16 をご確認ください。

## 引越手順

### シナリオ 1：壊れた PC をレスキューする / 別の HDD からの引越

引越元の内蔵 HDD を引越先の PC に接続するには、USB などの外付け HDD ケースなどが必要です。外付け HDD ケースは別途用意いただく必要があります。

重要：引越元の HDD には引越元のすべてのシステムが含まれている必要があります。一部のファイルのみのコピーでは正しく引越ができない可能性があります。

手順：

1. 引越元のパソコンを終了します
2. 引越元の HDD を引越元のパソコンから取り外します
3. 引越元の HDD を引越先のパソコンに接続します
4. 引越先のパソコンを起動します
5. 本製品を引越先パソコンで起動します。メイン画面が表示されるので 2 番目のオプション「古いハードディスクから引越」を選択して「次へ」を選択します。

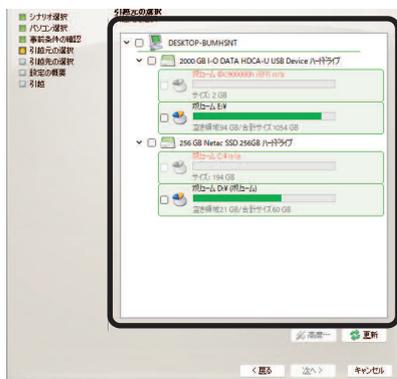


6. 「事前条件の確認」画面が開きますので、すべてのチェックが OK であれば「次へ」をクリックします。すべてが OK になっていない場合は、問題を解決してから再度やり直してください。

7. 「引越元の選択」画面が表示されます。引越元のハードディスクが表示されますので、複数のハードディスクが表示されている場合は該当するディスクを選択してください。もし引越する内容を個別に設定する場合は、本ガイドの「引越対象の選択」の項目をご確認ください。

※表示されない場合はセキュリティソフトが残されていないかをご確認ください。

また、無線をご利用の場合は同じネットワーク（同じルーターの回線）に接続されているかをご確認ください。



8. 引越元の選択が完了したら「次へ」を選択します。

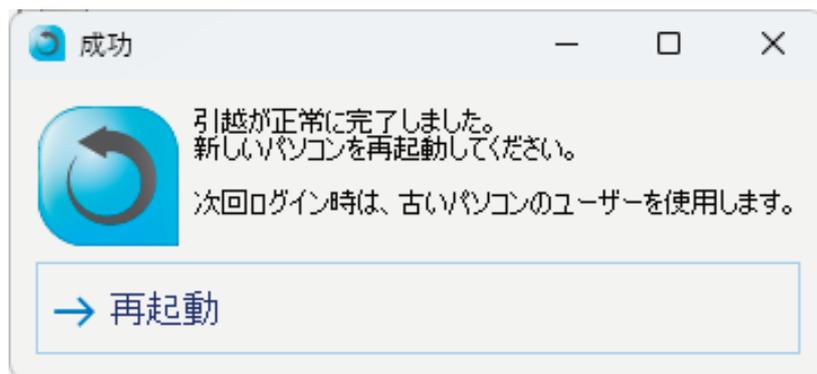
9. 引越先の選択画面が表示されるので通常を選択して「次へ」を選択します。ハイブリッド SSD ストレージ対応が必要な場合はシナリオ 2 をご参照ください。

10 設定の概要画面が表示されます。概要を確認して、問題なければ「進む」ボタンをクリックして引越を開始してください。

※引越中に進捗を表示しますが、ここでの作業はありません。

引越には長時間（数時間）かかる場合があります。引越元のドライブ、システムの状態、ネットワーク種類、ネットワーク速度、PC の処理速度、そして引越するデータのサイズなど、あらゆる要素によって左右されます。

重要：引越先のパソコンで完了メッセージが表示されるまで、なるべくパソコンは触らないようにしてください。



引越が完了すると、上記のダイアログが表示されます。「再起動」を選択してパソコンを再起動してください。

※引越元のパソコンは引越が完了してもメッセージは表示されません。

## シナリオ 2：SSD ターゲット（ハイブリッド・ストレージ・モード）

引越先のパソコンが SSD と HDD のハイブリッドな構成（OS やプログラムは SSD、データは HDD を使用する）の場合、本シナリオを使うことができます。このモードを利用すると引越したデータはより大きな HDD ドライブに移動され、アプリ設定やユーザー設定などはより小さな SSD ドライブへ引越されます。

本シナリオは、各シナリオで引越先の選択画面の後に表示されます。

SSD モードを起動するには、2 つ目のオプション「SSD モード / 引越先の容量が引越元より小さい場合に使用します」を選択してください。ドロップダウンのリストが表示されるのでより大きいドライブを選択し、「次へ」をクリックします。

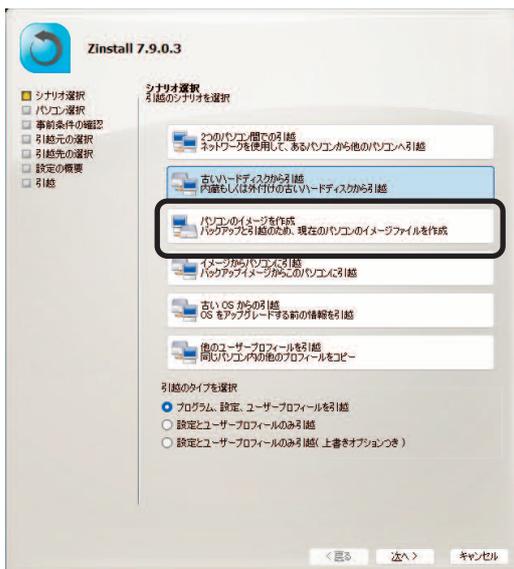


### シナリオ 3：中間的ストレージ・ロケーションでの受け渡し（直の接続がない場合）

こちらのシナリオは2段階にて実施します：1段階目では引越元のPCのイメージファイルを作成し、ネットワークストレージ、外部ハードディスクもしくはその他ストレージメディアに保管します。2段階目にイメージファイルを引越先のPCに適用します。この手法を使えば例え2台のPCが同時に使えない状態でも引越が可能になります。

#### 引越元のパソコンにて

1.引越元のPCにて製品を実行します。メイン画面が表示されますので、3番目のオプション「パソコンのイメージを作成」を選択してください。



- 2.「事前条件の確認」画面が表示されるので、こちらの前提条件がすべてOKであれば「次へ」を選択してください。（修正する項目がある場合は修正してから再度お試しください）
- 3.「引越元の選択」画面が表示されるので、イメージファイルを作成するドライブを選択してください。



- 4.「引越先の選択」画面が表示されるので、イメージファイルの保存先を「参照」から選択し任意のファイル名を入力してください。
- 5.設定の概要画面が表示されますので「進む」を選択して開始してください。

### 引越先のパソコンにて

- 1.引越先の PC で製品を実行します。メイン画面が表示されますので、4 番目のオプション「イメージからパソコンに引越」を選択してください。
- 2.「事前条件の確認」画面が表示されるので、こちらの前提条件がすべて OK であれば「次へ」を選択してください。（修正する項目がある場合は修正してから再度お試しください）
- 3.次の画面で、引越先の PC に適用するイメージファイルを「参照」から選択してください。
- 4.SSD モードのオプション画面が表示されますが、ハイブリッド・SSD ストレージ対応が必要な場合はシナリオ 2 の詳細をご参照ください。
- 5.設定の概要画面が表示されるので内容に問題がない場合は「進む」を選択して引越を実行してください。

※引越中に進捗を表示しますが、ここでの作業はありません。

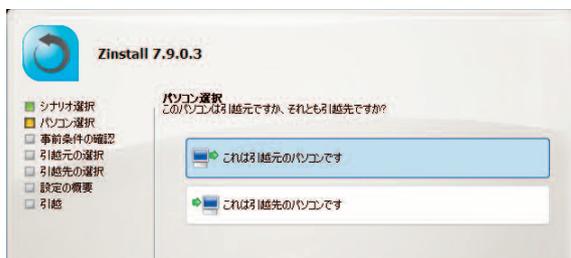
### シナリオ 4/5：一つのパソコンから別のパソコンへ引越

#### 引越元のパソコンにて

- 1.引越元の PC にて製品を実行します。メイン画面が表示されますので、1 番目のオプション「2つのパソコン間での引越」を選択してください。

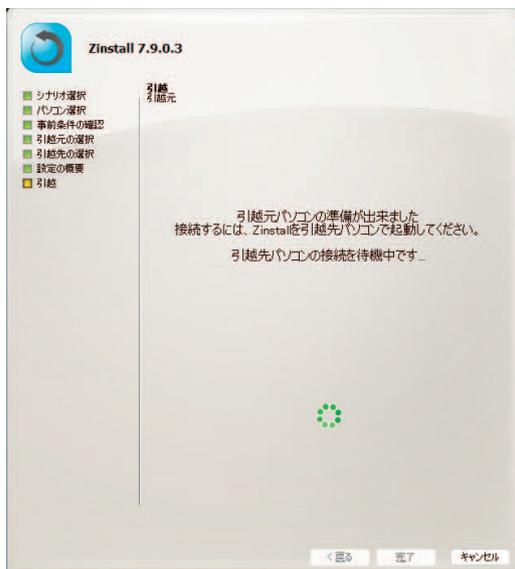


- 2.次の画面で「これは引越元のパソコンです」を選択してください。



- 3.「事前条件の確認」画面が表示されるので、こちらの前提条件がすべて OK であれば「次へ」を選択してください。（修正する項目がある場合は修正してから再度お試しください）

4.引越元の準備が完了すると以下の画面が表示されます。引越が完了するまでは本製品を終了しないようご注意ください。続いて引越先のパソコンの手順にお進みください。



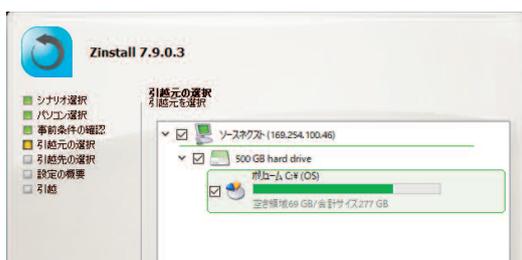
### 引越先のパソコンにて

- 1.引越先の PC にて製品を実行します。メイン画面が表示されますので、1 番目のオプション「2 つのパソコン間での引越」を選択してください。
- 2.次の画面で「これは引越先のパソコンです」を選択してください。
- 3.「事前条件の確認」画面が表示されるので、こちらの前提条件がすべて OK であれば「次へ」を選択してください。（修正する項目がある場合は修正してから再度お試しください）
- 4.各パソコンが接続されていることをご確認ください。接続法としては以下があります：
  - a.同じインターネットルーターやホーム/オフィスネットワークに接続
  - b.直接ネットワークケーブルで各パソコンを接続※設定は特に不要です。ケーブルを接続すれば自動で接続を設定します。  
※この作業には数分かかる場合があります。

### 無線 LAN 接続に関する注意事項

本製品は無線 LAN での引越にも対応していますが、無線 LAN の場合は時間がかかり、接続が不安定な場合は引越が失敗する可能性があります。そのため可能な限り有線での引越をお勧めします（無線 LAN で接続しないよう、両 PC の無線 LAN を無効にしておくことをおすすめします）。

5.両 PC の接続が完了してお互いを検出した場合、引越元の選択画面に詳細が表示されます。



6.引越する対象を選択したら「次へ」をクリックしてください

7.SSD モードのオプション画面が表示されますが、ハイブリッド・SSD ストレージ対応が必要

な場合はシナリオ 2 の詳細をご参照ください。

8.設定の概要画面が表示されるので内容に問題がない場合は「進む」を選択して引越を実行してください。

※ 引越中に進捗を表示しますが、ここでの作業はありません。

### シナリオ 6：同 PC 上で Windows7 / 8 / 10 へのアップグレード引越を行なう

1 台のパソコンで OS をアップグレードする際などに使用します。(例：XP パソコンから Windows 7 / 8 / 10 にアップグレード)

#### 【概要】

まずはアップグレードする前の Windows のイメージファイルを外部 HDD、ネットワークストレージ等に作成します。

既存の PC に新しいバージョンの Windows をインストールします。

作成したイメージファイルをアップグレードした Windows に適用します。

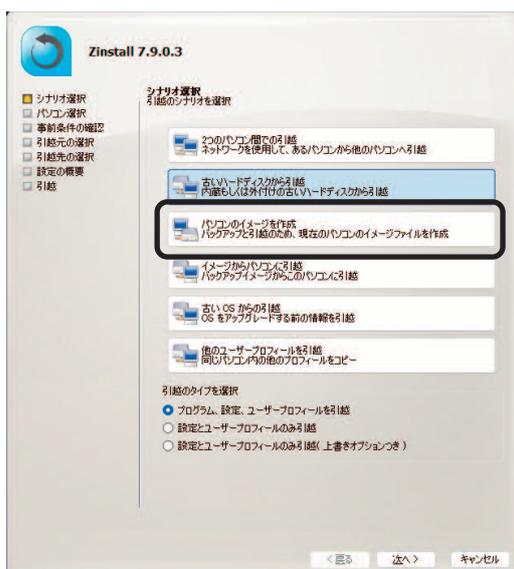
#### 新しい Windows をすでにインストールしてしまった場合

アップグレード前の OS のイメージファイルを作成せずに新しい Windows をインストールしてしまった場合でも、旧環境を引越することはできます。この場合はメイン画面の 5 番目のオプション「古い OS からの引越」を選択してください。Windows インストール時に古い OS のデータが削除されていない場合、本製品は旧 Windows フォルダを見つけてそちらから引越を行ないます。

まだ新しいバージョンの Windows をインストールしていない場合は、以下の手順で引越を行うのをお勧めします：

#### 既存の Windows で実施すること：

1.引越元の PC にて製品を起動します。メイン画面が表示されたら、3 番目のオプション「パソコンのイメージを作成」を選択してください。



2.「事前条件の確認」画面が表示されるので、こちらの前提条件がすべて OK であれば「次へ」を選択してください。(修正する項目がある場合は修正してから再度お試しください)

3.引越元の選択画面でイメージファイルを作成するドライブを選択してください。

- 4.引越先の選択画面でイメージファイルの保存先を選択してください。
- 5.設定の概要画面が表示されますので「進む」を選択してイメージファイル作成を開始してください。

### 新しい Windows をインストール :

- 6.パソコンに新しい Windows をインストールしてください。

### Windows をインストールした後に :

- 7.新しく Windows をインストールした環境にて製品を起動します。メイン画面が表示されたら、4 番目のオプション「イメージからパソコンに引越」を選択してください。



- 8.「事前条件の確認」画面が表示されるので、こちらの前提条件がすべて OK であれば「次へ」を選択してください。(修正する項目がある場合は修正してから再度お試しください)
  - 9.引越元の選択画面で、「参照」ボタンをクリックし、既存の Windows 上で作成したイメージファイルを選択します。
  - 10.SSD モードのオプション画面が表示されますが、ハイブリッド・SSD ストレージ対応が必要な場合はシナリオ 3 の詳細をご参照ください。
  - 11.設定の概要画面が表示されますので「進む」を選択して引越を開始してください。
- ※ 引越中に進捗を表示しますが、ここでの作業はありません。

### シナリオ 7 : サードパーティのバックアップイメージから復元

本製品はサードパーティ製のイメージバックアップからプログラムや設定やファイルを復元することができます。

復元を実行するには :

- 1.サードパーティ製のバックアップイメージを仮想ドライブとしてマウントしてください。
- 2.サードパーティ製のイメージをドライブとしてマウントしたら、シナリオ 1 で (マウントされたドライブを引越元として選択して) 引越を実施してください。

## シナリオ 8：他のユーザーのプロフィールから引越

1.メイン画面の「他のユーザープロフィールを引越」を選択してください。



2.引越元のユーザーを選択してください。



3.「事前条件の確認」画面が表示されるので、こちらの前提条件がすべて OK であれば「次へ」を選択してください。(修正する項目がある場合は修正してから再度お試しください)



4.引越する対象を選択したら「次へ」を選択します。



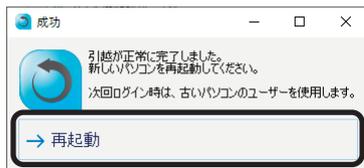
5.引越先を選択し「次へ」を選択します。



6. 設定の概要画面が表示されるので内容に問題がない場合は「進む」を選択して引越を実行してください。



7. 成功の画面が表示されたら「再起動」を選択します。



プロフィール、設定、データのみを引越、アプリケーションを引越さない場合すべてのシナリオのオプションとして使用できます。シナリオの選択時にあわせて選択してください。

- ・ プログラム、設定、ユーザープロフィールを引越
- ・ 設定とユーザープロフィールのみ引越
- ・ 設定とユーザープロフィールのみ引越( 上書きオプション付き )

※3つ目のオプションは2つのPCで同じユーザーを同期させる場合などに利用します。



## 引越対象の選択

上記のすべてのシナリオにおいて高度なオプションを使って引越の対象（アプリケーションのみ、設定のみ、ファイルのみなど）を選択することが可能です。

重要：間違った設定をすると予期せぬ結果となる可能性がありますので、ご注意ください。

「引越対象の選択」を使った引越の手順：

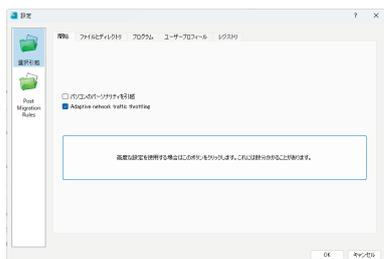
1. 「引越元の選択」画面で、「高度・・・」ボタンをクリックしてください。



2. 設定画面が開きます。画面中央のボタンをクリックします。

※Advanced Setting のメッセージが表示されるので「OK」をクリックします。（シナリオによっては出ない場合があります。）

※こちらの操作には時間がかかる場合があります。画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。



3. 読み込みが完了すると、4つのタブが選択可能になります。

ファイルとディレクトリ、プログラム、ユーザープロフィール、レジストリ

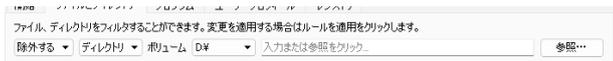
4. ファイルとディレクトリの除外を設定：

「ファイルとディレクトリ」ではどのファイルやディレクトリを含め、または除外するかを選択できます。

a. 新たなルールを追加するには、画面右上のパス入力欄にパスを入力するか、参照を使ってパスを指定後、左側のプルダウンメニューから「除外する」か「含める」を選択し、「ルールを追加」ボタンをクリックします。

- i) パスを手動で入力する場合はドライブレターを含め、フルパスを入力してください。
- ii) パスを参照している場合は左側のプルダウンメニューで「ディレクトリ」か「ファイル」の正しいオプションが選択されていることを確認し、正しいボリューム（ドライブレタ

一) が選択されていることもご確認ください。



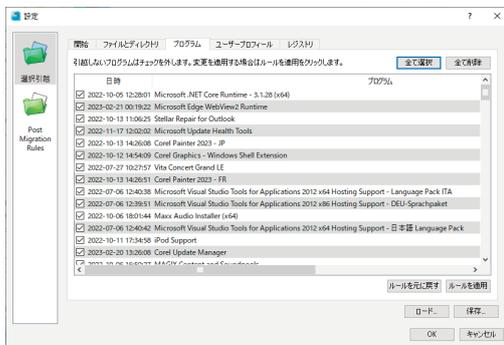
- b. 「除外する」ルールに含まれたファイルやフォルダは、引越先のシステムへ移動されません。「種類」のチェックボックスをクリックするたび「含める」、「除外する」を切り替えることができます。チェックが付いていない場合は「除外する」、付いている場合は「含める」です。
- c. 「含める」ルールに含まれたファイルやフォルダは、たとえ親フォルダが除外されていても移動対象に含まれます。含めたものを除外するには、チェックボックスをクリックし、ルールを「除外する」に切り替えてください。



#### 5. プログラムの除外を設定：

「プログラム」のタブでは引越先へ移動させないプログラムを選択することができます。

- a. デフォルト設定では、すべてのプログラムにチェックがついている(すべてが引越対象)状態です。チェックをはずすと、そのプログラムは引越対象から外れます。「全て削除」をクリックするとすべてのチェックがはずれ、「全て選択」ですべてのチェックが付きます。
- b. プログラム詳細の左に表示されるチェックボックスの ON/OFF で引越対象の切り替えが行えます
- c. ファイルパスが不明なプログラムのチェックを外した場合は、パス指定画面(Select program install location)が表示されますので、プログラムのインストール場所を選択してください。インストール場所がわからない場合はキャンセルしてください。この場合、該当プログラムの一部のファイルは移動されてしまうかもしれませんが、プログラム自体は引越されません。



#### 6. 設定のどの段階でも現在設定してあるルールを保存することができます。

その場合は画面右下の「保存...」ボタンを選択してください。保存したルールは後から「ロード...」から読み込むことができます。

※引越を実行する前にルールを保存しておくことをおすすめします。

#### 7. ルールの設定が完了しましたら「OK」を選択して引越元の選択画面に戻り、引越を続行してください。

## コマンドラインの実行について

本製品は製品の画面からだけでなく、コマンドプロンプトなどから実行することもできます。使用できるコマンドは以下の通りです：

- serial=<serial\_number>: シリアルナンバーをハイフンやスペースなしで指定します。
- email=<email\_address>: メールアドレスを指定します（サポート用に連絡先を必要としている場合は入力）
- eula=yes: 使用許諾書への同意状態を確認します。
- method=m2c: シナリオの種類を指定します。

例：

m2c: パソコンからコンテナ(イメージファイル)へ

c2m: コンテナ(イメージファイル)からパソコンへ

--container=<コンテナへのパス>:

(m2c) の場合、コンテナを作成するパスを指定します。

(c2m) の場合、既存のコンテナへのパスを指定します。

パスは実存するパスでアクセス可能でなければいけません。

--enablelog=yes : 実行パス内にテキストログを作成します。

例:(C ドライブ直下にプログラムファイルを置いた場合)

パソコンからコンテナへ引っ越す場合：

C:\>\Users\ユーザー名>cd c:\ で Enter。

C:\>zinstall\_migration\_kit\_pro\_666.exe --serial=<シリアル番号> --email=<メールアドレス>

--eula=yes --method=m2c --container=<コンテナへのパス> --enablelog=yes

例：

C:\>zinstall\_migration\_kit\_pro\_666.exe --serial=AAAABBBBCCCCDDDDDEEEEEFFF-

FGGGGHHHHJJ --email=it@example.com --eula=yes --method=m2c --

container=c:\temp\container.vmdk --enablelog=yes

コンテナからパソコンへ引っ越す場合：

C:\>\Users\ユーザー名>cd c:\ で Enter。

C:\>zinstall\_migration\_kit\_pro\_666.exe --serial=<シリアル番号>

--email=<メールアドレス> --eula=yes --method=c2m

--container=<コンテナのパス> --enablelog=yes

例：

C:\>zinstall\_migration\_kit\_pro\_666.exe --serial=AAAABBBBCCCCDDDDDEEEEEFFF-

FGGGGHHHHJJ --email=it@example.com --eula=yes --method=c2m --

container=c:\temp\container.vmdk --enablelog=yes

製品の GUI ウィザードを実行し、シリアルを自動入力、EULA を自動で同意する場合：

C:\>\Users\ユーザー名>cd c:\ で Enter。

C:\>zinstall\_migration\_kit\_pro\_666.exe --serial=<シリアル番号>

--email=<メールアドレス> --eula=yes

例：

C:\>zinstall\_migration\_kit\_pro\_666.exe --serial=AAAABBBBCCCCDDDDDEEEEEFFF-

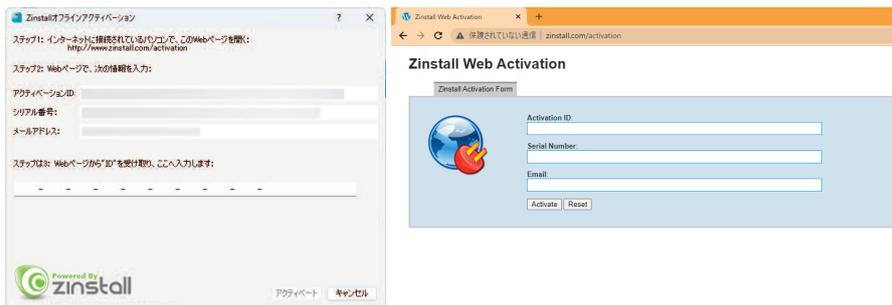
FGGGGHHHHJJ --email=it@example.com --eula=yes

## Appendix A

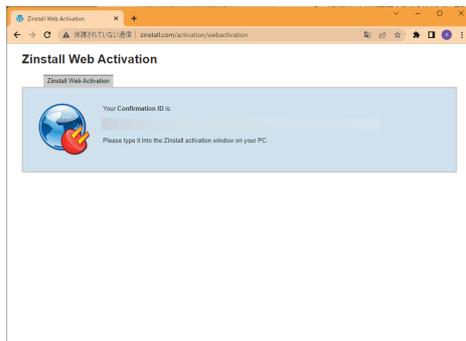
### Web アクティベーション

PC がインターネットに接続されていない場合、自動アクティベーションは行えません。この場合、本製品は手動での Web アクティベーションを案内します。

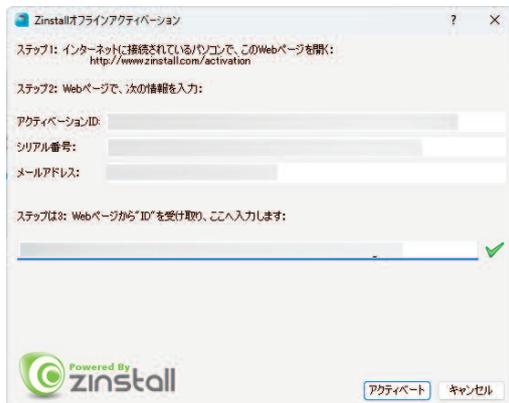
1. インターネット接続がある PC からブラウザを開きます。
2. [www.zinstall.com/activation](http://www.zinstall.com/activation) を開きます。
3. Web アクティベーション・フォームに Activation ID、シリアル番号、メールアドレスを入力します。(アクティベーション ID などは、本製品をオフラインで起動した場合に表示される画面に記載されています。)



4. 「Activate」 ボタンを選択します。
5. Web アクティベーション画面上で確認コードが表示されます。



6. この確認コードを本製品の画面に入力します。



7. Zinstall オフラインアクティベーション画面の「アクティベート」を選択して製品をアクティベートします。

## CHKDSK を実施

ハードディスクの整合性をチェックするためには CHKDSK を実施することをおすすめします。

Windows XP / Vista / 7 の手順 :

1. スタートメニューから、(マイ)コンピュータを開きます。
2. ハードディスクを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
3. 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」ボタンをクリックします。
4. 「ディスクのチェック」が表示されます。「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」の両方にチェックをつけ、「開始」ボタンをクリックします。
5. 再起動を求められたら指示に従います。

Windows 8 / 10 の手順 :

1. 画面左下を右クリックし、「コマンド プロンプト(管理者)」を選択します。
2. コマンドプロンプト(黒い背景の画面)が起動しますので、以下のコマンドを入力し、Enter を押します。

例)F ドライブをチェックする場合

```
chkdsk /f /r /x F:
```

3. 再起動を求められたら指示に従います。

複数ハードディスクがある場合は、それぞれに対して行なってください。

## FAT32 ドライブを NTFS システムへ変換

引越元のドライブが FAT32 ファイルシステムの場合は NTFS ファイルシステムに変換しておくことをおすすめします。

1. スタートメニュー - (すべての)プログラム - アクセサリから「コマンドプロンプト」を選択します。Windows 8 / 10 をお使いの場合は、画面左下を右クリックし、「コマンド プロンプト(管理者)」を選択します。
2. コマンドプロンプトが起動しますので、以下のコマンドを入力し、Enter を押します。  
Convert C: /FS:NTFS
3. ボリュームラベルの入力を求められたら、マイコンピュータに表示されているボリュームラベル名を入力します。  
例)C ドライブのボリュームラベル名が Windows XP( C: )となっている場合、「Windows XP」と入力します。
4. ボリュームラベルは使用されており、強制的に変更する旨が表示されますので、Y を入力します。
5. システムボリュームのため次回再起動時に実行する旨が表示されますので、Y を入力し、パソコンを再起動します。
6. Windows が起動する前にディスクチェックの画面が表示されますので、キーを「押さず」にそのままお待ちください
7. ディスクチェックが完了すると、NTFS への変換が始まります。完了までお待ちください。

# トラブルシューティング ガイド

## メッセージコード

メッセージコード	トラブルシューティング手順
10	<p>起動中のアプリケーションによって Zinstall が正しく動作できていません。</p> <p>起動中のアプリを終了し、再度 Zinstall を起動しなおしてください。どのアプリケーションを閉じればいいのかわからない場合はパソコンを再起動させて、Zinstall を起動しなおしてください。</p>
13	<p>シリアル番号が誤っているか、またはウイルス対策ソフト、ファイアウォールにブロックされています。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1.入力したシリアル番号が正しいシリアル番号であることをご確認ください。</li><li>2.ウイルス対策ソフトをアンインストールしファイアウォールを無効にしてください</li></ol>
190	<p>重要な Windows サービスが破損しています。</p> <p>こちらのエラーは重要な Windows コンポーネントが正しく動作していないか破損している場合表示されるエラーです。これらの破損しているコンポーネントは本製品のものではありませんが、実行するには修正が必要です。このメッセージが表示される場合、機能していないコンポーネント名や詳細と共にトラブルシューティングのためのエラーコードが表示されますので、Microsoft 社にお問い合わせください。</p>
252	<p>引越中にパソコンのネットワーク接続が切断されました。</p> <p>こちらの原因として考えられるものは：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・引越元 PC のネットワークアダプタに何らかの問題がある</li><li>・引越中にネットワークスイッチの失敗（大きなデータコピーの処理失敗によるもの）</li><li>・ファイアウォール、セキュリティ製品などによってネットワーク通信が妨害</li></ul> <p>トラブルシューティング：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1.ネットワークケーブルとアダプタが正しく（物理的に）繋がっていることを確認</li><li>2.引越元 PC と引越先 PC がオンライン状態であり、スリープなどになっていないことを確認</li><li>3.引越元 PC と引越先 PC のファイアウォール、セキュリティ製品がアンインストールされていることを確認</li><li>4.ダイレクトに接続している場合はルーターでの接続を試してみる</li><li>5.ルーターで接続している場合は直接接続してみる</li><li>6.すべてのプログラムを終了してから再度引越を実施</li></ol> <p>上記でも改善しない場合は：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1.ハードディスクを引越元の PC から取り外して、引越先の PC に接続する</li><li>2.そのハードディスクを引越元として引越する</li></ol>

**VSS の問題**

VSS はボリュームのスナップショットを作成してコピーできるようにする Windows コンポーネントです。

Zinstall では VSS を使ってソース PC の全ディスクのコピーを作成しています。VSS に問題があっても Zinstall はそのまま引越できますが、後の段階で問題が発生する可能性があります。

引越中にこの警告が表示された場合は引越元の PC のすべてのアプリケーションを終了させると、後に問題が発生する可能性がさがります。もしくは以下の手順に従って、引越する前に VSS の問題を解決させることをおすすめします。

<Windows XP の場合>

1.引越元の PC にて以下の Vshadow ユーティリティをダウンロードしてください：

<http://www.zinstall.com/sto/tools/vshadow.exe>

2.引越元の PC の各ボリュームに対してコマンドプロンプトを開き、「vshadow x:」を実行してください（「x はドライブ名。」）。

3.もし VSS が正しく動作している場合、出力は「Snapshot creation done.」で終わります。

4.もし VSS に問題がある場合は問題の詳細とエラーコードが出力されます。

5.出力された問題の詳細・エラーコードを Microsoft のサポートまで連絡し、解決策を伺ってください。

VSS が正しく動作するようになりましたら再度引越を実施してください

**一般的なエラー**

トラブルシューティング手順：

1.引越元の PC にて Chkdsk を実施する

2.ファイアウォールやセキュリティ製品が無効になっていることを確認する

3.引越元、引越先の PC を再起動する

4.再度引越を実行する

**1つまたは複数のハードドライブが FAT32 ファイルシステムでフォーマットされている**

より確実に引越をするためには FAT32 パーティションを NTFS にすることをおすすめします。

トラブルシューティング手順（メッセージが表示される各パーティションに対して以下を実施）：

1.コマンドプロンプトを開いてください。

2.「convert c: /FS:NTFS」のコマンドを入力して Enter を押しします。

3.「ボリュームラベル」を選択するように促された場合はマイコンピュータ上で表示されたラベルを入力してください。（例：マイコンピュータ上で「Drive C: [My Drive]」になっている場合は「My Drive」と入力）

4.「ボリュームは使用中ですが強制的に実行しますか？」と表示さ

	<p>れた場合は「はい」を選択してください。</p> <p>5.「システムボリュームです。次回の再起動時にスケジュールしますか?」と表示された場合は「はい」を選択してください。</p> <p>6.パソコンを再起動してください</p> <p>7.Windows が起動するとディスクチェックが実施されます。「ファイルシステムは FAT です。ディスクチェックをキャンセルする場合はキーを何か押してください」と表示されますがキーは押さないようにしてください。</p> <p>8.ディスクチェック後に NTFS への変換が開始します。時間がかかるので完了するまでお待ちください。</p> <p>9.変換が完了すると Windows が自動で再起動します。</p>
322	<p><b>引越元と引越先の PC が接続できていません</b></p> <p>こちらは引越元の PC と引越先の PC がお互いをネットワーク上で見つけられない場合表示されます。</p> <p>トラブルシューティング手順：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.各 PC がネットワークケーブルで接続されていることを確認</li> <li>2.本製品が引越元と引越先の両方の PC で起動していることを確認</li> <li>3.ネットワークケーブルおよびアダプタが物理的に接続されていることを確認</li> <li>4.両 PC でファイアウォール、セキュリティ製品がインストールされていないことを確認</li> <li>5.両 PC にネットワークアダプタが正しくインストールされていることを確認（アダプタを確認する場合は、コントロールパネル&gt;ネットワーク通信を選択）</li> <li>6.両 PC のネットワークアダプタが有効になっていることを確認（ネットワーク通信内で「有効」と表示されていること）</li> </ol> <p>上記を確認しても改善しない場合は：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.直接接続されていた場合はルーター経由での接続をお試しく下さい。</li> <li>2.ルーター接続されていた場合は直接接続をお試しく下さい。</li> <li>3.両 PC にて動作中のプログラムをすべて停止してください。</li> </ol> <p>それでも改善しない場合は別の引越方法をお試しく下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.引越元の PC からハードディスクを取り外して引越先の PC に接続してください、</li> <li>2.接続したハードディスクを引越元として引越をお試しく下さい。</li> </ol>
328	<p><b>VSS 警告</b></p> <p>トラブルシューティングについては 254 をご確認ください。</p>

## 引越後

### ソフトウェアのアクティベーション

一部の製品では再度アクティベーションが必要な場合があります。アクティベーションを求められた場合は、表示される内容にしたがって再度行なってください（再度アクティベーションが必要になるソフトウェアの例は「Microsoft Office」です）

### 非対応のアプリケーション

古い OS から新しい OS に引っ越した場合や、32bit から 64bit OS に引っ越した場合、一部のプログラムが引越先で非対応となる場合があります。例えば Outlook Express は Windows7/8/8.1/10/11 では利用できません。

この場合はソフトウェア開発元へお問い合わせいただき、引越先の PC で利用可能なバージョンがないか、もしくは動作させる方法をご確認ください。また、一部のプログラムは Windows の「互換性モード」を使って実行できる場合があります。

### 引越先の PC を引越前の状態に復元する

引越先の PC を引越前の状態に復元したい場合は Windows のシステム復元をご利用ください。こちらは引越に失敗した場合や、最初からやり直したい場合に便利です。システム復元をする場合は引越が実施される直前のポイントに復元することをおすすめします。（Zinstall という文字が詳細に記載されています）

### クライアント側にインストールされた SQL サーバーデータベースを利用するアプリケーションの場合

SQL のサーバーデータベースエンジンがクライアント側の PC にインストールされている場合、引越先で正常に動作しない可能性があります。こちらの問題を手動で改善するには SQL サーバーサービスを「システム」ユーザーとして起動するようにしてください。または「コントロールパネル」>「プログラムのアンインストールまたは変更」>「修復」で該当するアプリケーションの修復をお試しください。